仕事にゆきづまり、眠れなくなったケース

Ａ　あなたの部下である鈴木さんは、３５歳の優秀な男子社員です。会社として期待のかかっているある新製品の販売企画の責任者に抜擢され、がんばって仕事をしていましたが、ここ１週間ほどひどく元気がないようです。

　あなたが声を掛けてみると「なんでもないです」と応えますが、さらに聞くと「なかなかこれといったよい企画が思い浮かばなくてまいっている。仕事のことを考えていると最近あまりよく眠れない」とこぼします。打ち合わせや会議での報告を見る限り、これまでの進捗状況はまずまずのように思えます。しかし、鈴木さんは、「自分には能力がない。このままだと、会社やみんなに迷惑をかける」とこぼします。

（対応）

①．仕事はうまくすすんでいることを、鈴木さんによく説明する。

ＧＯ　ＴＯ　（Ｂ）

②．鈴木さんは疲れているようなので、しばらく仕事の負担を減らして様子をみる。

　　　ＧＯ　ＴＯ　（Ｃ）

③．鈴木さんの仕事がいかに期待されているかを説明し、頑張るよう元気づける。

　　　　ＧＯ　ＴＯ　（Ｄ）

Ｂ　あなたは、時間をかけて鈴木さんと話してみましたが、鈴木さんは仕事がうまく行っていないという考えが頭から離れないようです。それどころか、「会社をやめようかと思い詰めている」、「夜眠れないでいると、自分は死んだ方がいいのではと、つい思ったりする」と言いはじめます。

（対応）

①．鈴木さんの仕事がいかに期待されているかを説明し、頑張るよう元気づける。

　　　　　　　　　　　ＧＯ　ＴＯ　（Ｄ）

②．体の具合いが悪いようなので近くの内科を受診するよう勧める。

 　 　ＧＯ　ＴＯ （Ｅ）

③．専門医を受診するよう、鈴木さんに勧めてみる。

　　　　 　　ＧＯ　ＴＯ （F）

④．鈴木さんの奥さんに電話をして、専門医を受診させるよう相談する。

 　 ＧＯ　ＴＯ　（G）

⑤．１０日後に産業医の健康相断を受けさせることとし、それまでこのまま様子を見る。

　 ＧＯ　ＴＯ　（H）

Ｃ　その日の夜中の３時頃、鈴木さんは、あなたの自宅に電話をかけてきました。 「仕事を減らされたのは、やはり自分の能力がないから」、「自分がいると会社に迷惑をかける」「長い間お世話になりました」と言います。あなたがいくら説明しても鈴木さんは納得する様子がありません。

（次の対応）

①．「なにを言っているんだ、しっかりしろ」と励ます。

　ＧＯ　ＴＯ　（Ｄ）

②．鈴木さんの奥さんに事情を話し、専門医への受診を勧めてみる。

　ＧＯ　ＴＯ　（G）

③．鈴木さんが冷静になるのを待つために「とにかく明日話そう」といって電話をきる。 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ＧＯ　ＴＯ　（H）

Ｄ　その場では納得した鈴木さんでしたが、明け方物置で首釣り自殺してしまいました。

（コメント）

　元気づけようと思ったあなたの言葉は、すでにうつ病になっていた鈴木さんの罪悪感を刺激してしまい、鈴木さんは発作的に自殺してしまいました。こんなことにならないよう、もう一度最初から慎重にやり直して下さい。

Ｅ　鈴木さんはその日に近くの内科医院を受診しました。医師は「こういう状態は、仕事が変わった時によくある。一時的なものなので心配ない。」といいます。

　鈴木さんは軽い睡眠薬をもらって帰ってきました。

（次の対応）

①．鈴木さんに専門医への受診を勧めるてみる。

　ＧＯ　ＴＯ　（F）

②．鈴木さんの奥さんに電話をして、状況を説明する。

 ＧＯ　ＴＯ　（G）

③．医師が大丈夫といったので、しばらく様子をみることにする。

　　　　 ＧＯ　ＴＯ　（H）

Ｆ　精神科ときいた鈴木さんは、「そんなところへ行ったら異常者扱いされてしまう」 と受診に強く抵抗します。

（次の対応）

①．鈴木さんの奥さんに事情を話し、精神科への受診を勧めてみる。

 　　　　ＧＯ　ＴＯ　（G）

②．１０日後、会社にくる産業医にあなたが相談することとし、それまで様子をみる。

 　　　　　　ＧＯ　ＴＯ　（H）

③．“内科病院で健康診断を受けよう”などと嘘をついても、強引に鈴木さんを専門医につれていく。

　　　　　　　　　　　　ＧＯ　ＴＯ （K）

Ｇ　鈴木さんの奥さんに電話で事情を話したところ、「少し疲れているだけではないか」と突然の話に警戒しているようです。また「会社が働かせすぎて、最近休んでいないためではないか」とかえって会社に文句があるようなそぶりです。

　あなたが専門医への受診を勧めても、「しばらく様子をみたい」と言うだけです。

（次の対応）

①．約１０日後、会社にくる産業医にあなたと鈴木さんとがあって相談することにして、それまで様子をみる。

　　　　　　　ＧＯ　ＴＯ　（H）

②．たまたま鈴木さんの兄が会社の近くに住んで中学校の教師をしているので、その兄にも連絡をとり、兄から奥さんを説得してもらう。

　　　　　　　　　　　　　　ＧＯ　ＴＯ （J）

③．会社の者だけででも、強引に鈴木さんを精神科に受診させる。

　　　 　 ＧＯ　ＴＯ （K）

Ｈ　その夜、鈴木さんは自宅をぬけ出してある旅館に行き、そこで睡眠薬らしきものを５０錠ほど服用しようとしたのですが、不審に思った宿の人が直前に発見して、 警察に保護されました。警察は鈴木さんの所持していた社員証を見つけ、夜中過ぎに会社の保安に知らせて来ました。保安から連絡を受けたあなたは、同じ職場の者とともに警察まで鈴木さんを引き取りに行き、とりあえず会社に連れもどったのです。

（次の対応）

①．専門医を受診するよう、鈴木さんを説得する。

 　　ＧＯ　ＴＯ　（I）

②．鈴木さんの奥さんに事情を話し、専門医への受診を勧めてみる。

 　　　　ＧＯ　ＴＯ　（J）

Ｉ　鈴木さんは、「そんなところへ行ったら異常者扱いされてしまう」と受診に強く抵抗します。

（次の対応）

①．鈴木さんの奥さんに事情を話し、精神科への受診を勧めてみる。

 　　　ＧＯ　ＴＯ　（J）

②．“内科病院で健康診断を受けよう”などと嘘をついても、強引に鈴木さんを専門医につれていく。

 　　　　　　　ＧＯ　ＴＯ （K）

③．１０日後、会社にくる産業医にあなたが相談することとし、それまで様子をみる。

 　　　　　　 　　　　　　　ＧＯ　ＴＯ　（L）

Ｊ　夫の様子がおかしいのに気づきはじめていた鈴木さんの奥さんも、専門医への受診に賛成したため、本人もしぶしぶ受診を納得しました。その夜は奥さんによく気をつけていてもらい、翌日あなたと本人、奥さんの３人で近くの精神科を受診しました。

　鈴木さんは「うつ病」の診断書で通院し、薬を飲みながら２カ月間休養した後、ほぼ元の状態までに回復しました。このため主治医から「復職可能」の診断書が出され、上司であるあなた、人事・労務、産業医および主治医の相談の上、もとの職場に復職し、６カ月後には薬も必要なくなり鈴木さんはすっかりもとの笑顔を取り戻しました。

 ［EＮD］

Ｋ　強引に精神科につれて行かれた鈴木さんは、精神科医に会っても黙ったままで一言もしゃべりません。精神科医は困って「うつ病で治療が必要と思うが、本人から事情が聞けないので判断できない」「強制入院もさせられない」と言います。

　そこで鈴木さんの奥さんに連絡を取って精神科まで来てもらい、ようやく薬をもらってしばらく休むことになりました。３カ月たって、鈴木さんは職場に出勤できるようになりましたが、鈴木さんと鈴木さんの奥さんは、強引に専門医を受診させたあなたをうらんでおり、あなたと鈴木さんとの関係はぎくしゃくしたままになってしまいました。

 ［EＮD］

　（コメント）

　せっかく治療に成功しても、こんなに人間関係が悪くなってはしかたありません。こんなことにならないよう、もう一度最初から慎重にやり直して下さい。

Ｌ　翌日、鈴木さんは会社に出かけると言って家を出たまま、行方不明となり、２日後に自宅から６０㎞ほど離れた自殺名所の海岸で水死体でみつかりました。

［EＮD］

　（コメント）

　最悪の事態ですね。こんなことにならないよう、もう一度最初から慎重にやり直して下さい。